

100年の時に思いを馳せて 歴史と文化が息づく南湖神社へ。



◀御鎮座百年が掲示された鳥居
▼龍の造形が見事な手水舎



これまでの百年、これからの千年
お宮参りや七五三、初詣ほか交通安全や厄除けの祈禱など、市民が様々な場面で訪れる南湖神社。今年は御鎮座百年を祝し境内整備事業に取り組みほか、10月9日に神幸大祭、翌10日には松風亭羅月庵において茶会が開かれました。「これまでの百年、これからの千年。地域にとって、定信公の目指した士民共楽の神社であり続けたい」と権禰宜の中目瑞英さん。10月28日頃からは、隣接する翠楽苑の紅葉ライトアップに合わせ、参道において竹灯籠のライトアップを開催。昼の趣とは違った幻想的な風景が楽しめます。文化や文化財の継承などを担いながら、士民共楽の理念のもと、市民に寄り添い開かれた神社として、南湖神社のこれから千百年は始まっています。

御朱印は季節ごとに変わります。300円と500円の2種。
学園成就や縁結びの御守りが人気。



100年の時に思いを馳せて 歴史と文化が息づく南湖神社へ。



享和元(1801)年に、時の白河藩主・松平定信(楽翁公)が築造した南湖公園。「士民共楽」の理念により、武士だけでなく庶民にも開かれた日本最古の公園として親しまれてきました。水と緑が織りなす四季折々の美しい景観の中にある南湖神社は、今年創建100年。5月に御鎮座百年記念春季例大祭、10月には創建時の遷座祭・奉祝大祭に倣った神幸大祭ほか大茶会が開かれ、新たな歴史を紡いでいます。



南湖神社宝物館
松平定信公直筆の書画や、定信公の甲冑、渋沢栄一公より奉納された書画などを展示。
※拝観希望の方は要事前連絡
拝観料：大人350円 小人200円
拝観時間：9時～16時

松風亭羅月庵
寛政年間建立と伝えられる定信公ゆかりの茶室。福島県指定重要文化財。
※拝観希望の方は要事前連絡
拝観料：300円

年間祭事
節分祭、楽翁桜祭、七五三、除夜祭など

特別企画展 松平定信と渋沢栄一
～時代を超えたつながりと白河～
会場 小峰城歴史館
日時 9/17(土)～11/13(日) 9時～17時 (最終入館閉館30分前) 月曜休館
料金 一般300円 小中高生・障がい者100円 (20名以上団体50円引)

イベントのお知らせ
竹灯籠ライトアップ
日時: 10/28(金)～11/13(日) 日没から21時まで点灯
料金: 無料
会場: 南湖神社参道

松平定信公が目指した士民共楽の神社であり続けたいですね。(権禰宜 中目瑞英さん)
これからの千年、地元の皆様と寄り添い、開かれた神社を目指してまいります。(宮司 中目公英さん)
◀宮司 中目公英さん 権禰宜 中目瑞英さん

南湖神社
〒961-0811 福島県白河市菅生館2番地
TEL 0248-23-3015 FAX 0248-23-3500
公式サイト <http://nankojinja.server-shared.com>



静かに水をたたえた湖畔に散策路があり、道沿いに歩みを進めると楽翁公の石像に出会えます。その奥に、階段を伴う緩やかな石畳の参道が続く、参道を進むと手水舎、その先には荘厳な社殿が。参道の両脇には灯籠が整然と列をなし、森の緑を背景に、南湖神社は美しい佇まいを見せています。創建は一九二二年。大正天皇御即位記念に、藤田新次郎白河町長ら町の有志が、白河藩に多大な功績を遺した松平定信を顕彰する神社を創建すべく、楽翁公奉祀表徳会を結成し、また、定信を敬愛していた渋沢栄一が援助し創建されました。



白河の歴史・文化を伝える
松平定信公は、南湖公園の築庭ほか、飢饉の際には庶民を救い、また産業振興のために市神祭で売る縁起物としてだるま作りを命じました。それが現在の白河だるまに至るなど、白河の歴史・文化に深く関わっています。南湖神社境内には、茶人としても知られた定信公が生前愛用した茶室「松風亭羅月庵」や、定信公や渋沢栄一らにまつわる貴重な資料を多数保管する宝物館があり公開されています。館内の展示物から学びを得て境内を巡れば、歴史をより深く知ることができるのも南湖神社の魅力の一つです。

▲創立功労者 渋沢栄一

▶松平定信公像